

# 付着生物ラーバ情報

## 洋上籠洗浄は異常貝の状況を確認し、 暖かい日に行いましょう

### 1 ラーバ等の出現状況

ラーバ等の調査地点は図1、出現数は表1のとおりです。

#### (1) キヌマトイガイ (通称：コメガキ)

ラーバは3月2日に久栗坂沖で60.0個体/m<sup>3</sup>、川内沖で281.3個体/m<sup>3</sup>、3月5日に奥内沖で43.3個体/m<sup>3</sup>、3月9日に野辺地沖で44.5個体/m<sup>3</sup>見られました (表1)。

#### (2) ユウレイボヤ (通称：ハナ)

ラーバは見られていません (表1)。

#### (3) ミネフジツボ

ラーバは3月2日に川内沖で0.8個体/m<sup>3</sup>見られました (表1)。

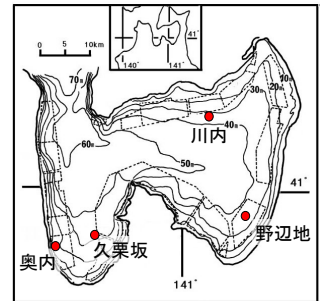


図1 ラーバ調査地点

表1 ラーバ等の出現状況

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	ザラホヤ	キヌマトイガイ	ムササキイガイ	ミネフジツボ
奥内沖	R5.3.5	0.0	0.0	43.3	35.0	0.0
久栗坂沖	R5.3.2	0.0	0.0	60.0	12.2	0.0
野辺地沖	R5.3.9	0.0	0.0	44.5	20.3	0.0
川内沖	R5.3.2	0.0	0.0	281.3	71.9	0.8

単位: 個体/m<sup>3</sup>

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

### 2 今後の見込み

#### (1) キヌマトイガイ

ラーバが継続して出現していることから (図2)、籠や耳吊り、マボヤ採苗器への付着が増加すると思われます。

#### (2) ユウレイボヤ

令和4年10月以降、ラーバの累積出現数は少ないものの (図3)、一部の海域でユウレイボヤの付着が多量に見られていることから、今春の半成貝の出荷作業効率が低下する地域があると思われます。

#### (3) ミネフジツボ

付着直前のラーバがほとんど出現していないので (表1)、付着はほぼ終了したと思われます。

### 3 洋上籠洗浄の注意点

ホタテガイに異常貝が多く見られる場合、洋上籠洗浄を行うことにより、さらに異常貝が増え、へい死する危険性があります (図4)。

洋上籠洗浄は異常貝の状況を確認しながら行いましょう。また、作業はホタテガイが凍結しないように暖かい日に行うようにしましょう。

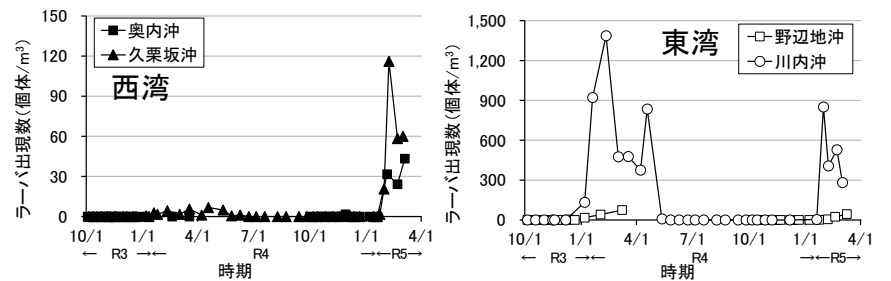


図2 キヌマトイガイ ラーバ 出現数の推移 (令和3年10月～令和5年3月)

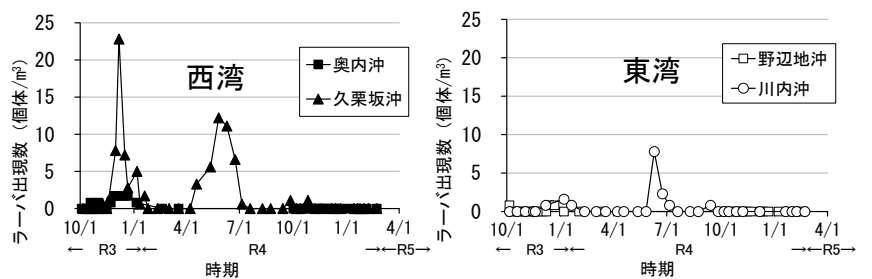


図3 ユウレイボヤラーバ出現数の推移 (令和3年10月～令和5年3月)

・平成25年の観察開始から現在までの最大値：西湾 25個体/m<sup>3</sup>、東湾 10個体/m<sup>3</sup>

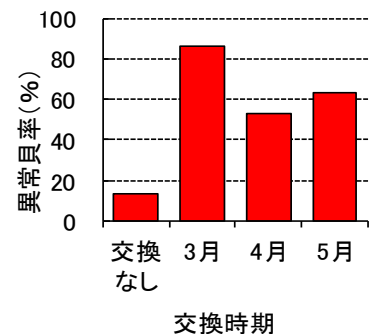


図4 洋上籠洗浄を模したネット交換によるホタテガイの異常貝率 (西湾で平成29年6月測定)

